

令和6年5月9日

各位

材惣木材株式会社
代表取締役社長 鈴木 龍一郎

JAS 認証印（JAS マーク）の不適切使用事案に対する再発防止対策につきまして

今回、弊社において JAS 認証印が不適切に使用されるという事態が発生しました。これについては、一部の社員が軽率な行動を行ったというにとどまらず、弊社の管理体制及び制度周知のための教育研修体制にも重大な問題があったと認識しております。そのため、次の施策等を実施し、役職員および組織の意識改革、法令及び社内規範遵守、不適切な行動を起こさない仕組みの構築など、コンプライアンスの意識を高め再発防止に取り組んでまいります。

再発防止対策

【令和6年4月現在既に実施済みの施策】

- 全社員朝礼（Zoom 対応）で、弊社代表取締役よりコンプライアンスの徹底を呼びかけました（今後も開催する予定です）
- HDグループ内のコンプライアンス委員会に専任担当者を配置し、弊社はもとよりグループ会社全体のコンプライアンスの向上を図ります
- 同コンプライアンス委員会に、弁護士ならびに外部顧問を招聘し、外部の視点からもコンプライアンスを強化します
- コンプライアンス啓発ポスターを弊社各事業所に掲示し、意識向上に努めております
（※別紙写真をご参照ください）

【令和6年5月以降実施が決定している施策】

- （公財）日本合板検査会による JAS 法に関する勉強会に参加します（5月24日開催予定）
- 弁護士による全社員対象のコンプライアンス教育を定期的で開催します
- 社員を対象に外部研修機関によるコンプライアンス研修を受講します
- コンプライアンス委員会による工場定期監査を実施します

上記以外にも、全社員のコンプライアンス意識醸成に資する施策を順次実施していきます。

弊社は、今回の事案を改めて真摯に受け止め、二度とこのような問題を引き起こすことのないよう、基本に立ち返り、コンプライアンス体制を強化し実効性を高め信頼回復に全力を上げて取り組んでまいります。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

(別紙) コンプライアンス啓発ポスターを事務所・工場に掲示しました

